



学校だより

志高く

正しい判断力とたくましい実践力をもった熊谷東中生を育む学校

発行 熊谷市立熊谷東中学校
電話 048(521)0066
FAX 048(521)8429
令和6年7月19日
第8号

「声を掛け合う」

校長 清水利浩



これは、県大会に臨んだ本校の生徒の姿です。

地区予選の時と比べても、目つきも、顔つきも、その雰囲気も、仲間に対する声かけも、明らかに異なるものです。地区予選から今日までは、今までとは全く違う高い意識で頑張ってきたのだろう。3年生を中心にアップの時から、「声を出そう」、「声を掛け合おう」と仲間
に……。試合に向けて、「早く動こう!」という声も聞こえていました。

仲間との間で「声を掛け合う」こと。これとても大切なことと捉えます。

私が考える「声を掛け合う」効果についてです。

声を掛け合うことで、チームの雰囲気がよくなる。

声を掛け合うことで、仲間に安心感や満足感を与えることができる。

声を掛け合うことで、仲間(チーム)のモチベーションを向上することができる。

声を掛け合うことで、自分自身も声を出すことで積極的になる。

まだまだ、その効果はあるのだろう。一方、その効果を得られるには、条件がありそうです。

まずは、勇気を出して、掛け合える声を自分から出すことができるかどうか。

そして、その声に答えることができるかどうか。

さらに、ミスをしたり、気分が落ちたりしている時や緊張している時、そんな時こそ、自分から勇気を出して声をだせるかどうか。

大会では、勝負に対しては、描いたとおりの結果は出すことができないこともあります。しかし、本気で試合に臨んだ、この数週間は、必ず次に生かせる大切なものを得たはずです。素晴らしいです。そして、2年生(1年生も含めて)は、これを受け継ぐことができるかどうか。いや、これを越える試みを続けることができるか。

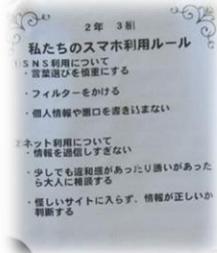
「何事もふだんが肝心」。このことばを、ここでも皆さんと共有したい。昨日、梅雨明けしました。明日から夏休みが始まります。素晴らしい43日間としてください。



令和6年度の歩み(7月)



全校集会 (スマホ・ネットルール発表)



交通安全教室 (1年生)



認知症サポーター養成講座 (2年生)



実カテスト (3年生)



生命の授業 (1年生)



OBL (オンライン・ブレンド・ラーニング) (1, 2年生)



県大会壮行会



高校説明会 (3年生)



第1回資源回収



暑さ対策・地域へ発信 (保健委員会)

